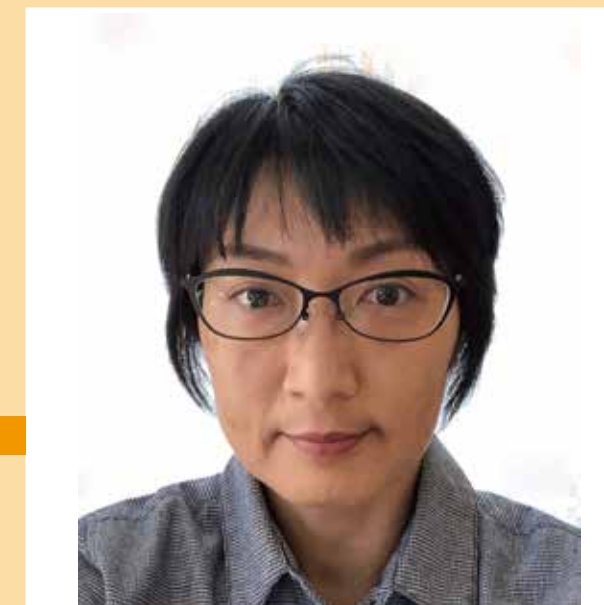


三田盆地に分布する神戸層群の年代と凝灰岩層の層序調査



自然・環境評価研究部 地球科学研究グループ 半田 久美子

神戸層群の堆積開始期と終了の年代を調べています。神戸層群の花粉や木材化石の研究を行っていますが、古第三紀の始新世末から漸新世にかけて世界的な寒冷化が起きており、神戸層群の植物群がどの時代のものなのかが重要になってくるからです。

これまでの年代測定では 3900~2800 万年前という幅広い値が得られています。ところが三田盆地の中部層にあたる吉川層の下部で、サイサンアミノドンやヒラキウス類といった哺乳類化石からおよそ 3800 万年前という古い値が示され (Tsubamoto et al., 2007)、さらに昨年末に三木市が発表した最上部の年代値が 3620 ± 200 万年前で、神戸層群は後期始新世の比較的短期間に堆積した可能性もでてきました。

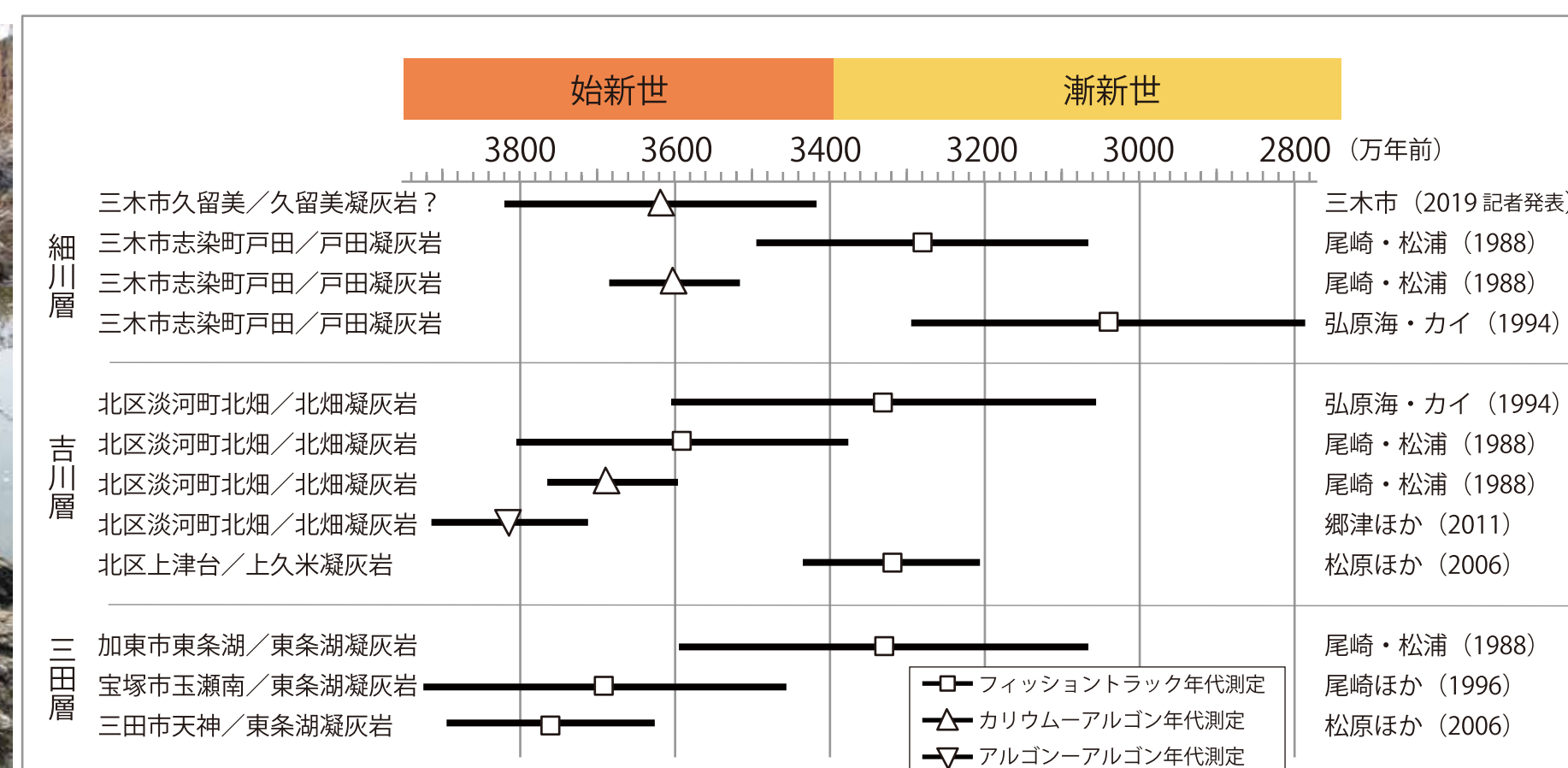
現在三田盆地の凝灰岩層の対比と上下関係を再検討しています。これから久留美凝灰岩の上位と東条湖凝灰岩の下位について層序を検討し、保存状態の良い年代測定に適した試料の探索を行います。



加東市 東条湖湖岸の東条湖凝灰岩



小野市菅田町 東条川河床の凝灰岩層



神戸層群の三田地域で測定された年代値